昭和、平成から令和へ――皇室に愛された名旅館

この特集は本社ウェブサイト「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

「皇室ゆかりの宿」特集

4月30日、天皇陛下が退位され、翌5月1日に皇太子さまが新しい天皇に即位される。新時代の幕開けに当たり、皇室の方々が宿泊された「皇室ゆかりの宿」13軒を紹介する。（この特集は本社ウェブサイト「観光経済ドットコム」、SNS「観光経済新聞フェイスブック公式ページ」「観光経済新聞ツイッター公式アカウント」との連動企画です。ウェブサイト、SNS上では1日1宿ずつご紹介していきます）

山梨県・甲府湯村温泉

常磐ホテル

世界が評価した庭園、雰囲気ある離れも

山梨県甲府湯村温泉の常磐ホテルは昭和4年の創業以来、国内外の多くの賓客を迎えている「甲府の迎賓館」。今上天皇や多くの皇族が宿泊された皇室ゆかりの宿でもある。

同館の名声を一層高めているのが庭園。米国の日本庭園情報誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」が選ぶ「日本庭園ランキング」で平成25、26年と連続で3位に選ばれるなど、国内外で高い評価を得ている。広さは約3千坪。朝9時から夕方5時まで開放しており、宿泊客はチェックインのあと、ゆうげの前のひと時などにゆっくりと散策を楽しめる。

庭園には高松宮さまが昭和23年に来館された際に手植えをした栗の木、作家の山口瞳氏がこよなく愛し、小説「花梨の庭」にも登場させた花梨の木、仲間とともに訪れ、昼から木の下でワインをたしなんだという文豪井伏鱒二氏ゆかりのケヤキの大木と、エピソードは枚挙にいとまがない。

◇　◇

ホテルの歴史をひもとくと、昭和19年の梨本宮さまから、実に30回を超える皇室の方々の宿泊記録が残っている。昭和天皇は同22年から3回、今上天皇は皇太子時代の同51年から4回、離れの「貴松亭」「松風」や西館洋室に宿泊された。

離れの客室は庭園を囲む回廊に7棟、11室点在する。いずれも日本建築の粋を凝らした数寄屋造りの雰囲気のある建物。ここから眺める庭園は宿泊客だけの特別な景色だ。

皇室ゆかりの2室のほかは、囲碁や将棋の「番勝負」で使われる「九重」、甲州・武田家ゆかりの旧家「萩原邸」を移築した甲州田舎造りの古民家「田舎家」など。ホテルでは、これらの見どころや歴史を案内する館内ツアーも行っている。

南アルプスを望む東館、富士山を遠望する西館での滞在も決して引けを取らない。東館は大浴場に近く、リピーターに人気。西館は現代人のニーズに応えた洋室も備える。

◇　◇

開湯1200年、「武田信玄の元湯」として親しまれている甲府湯村温泉。泉質はナトリウム・カルシウム―塩化物・硫酸塩泉。神経痛、筋肉痛、冷え性などに効くという。

男性用、女性用とも大きな大浴場と露天風呂を備える。男性大浴場は浴槽に黒い御影石、壁と天井に木材を使用し、重厚で味のある雰囲気をかもし出す。一方、女性用は男性用とは対照的な赤い御影石を使用。露天風呂は男女とも木の香り豊かなヒノキ風呂で、開放的な雰囲気の中で湯あみを楽しめる。

◇　◇

料理は甲州の旬の素材をふんだんに盛り込んだ逸品ぞろい。上質な霜降りが特徴の銘柄和牛「甲州牛」、甲州ワインを飲ませた脂のうまみが強い「ワイントン（豚）」など、この地ならではの食材をこの道40年の調理長がコーディネートする。

▽山梨県甲府市湯村2の5の21。☎055（254）3111。https://tokiwa-hotel.co.jp/

常磐ホテル外観

「日本庭園ランキング」上位にランクされたホテル庭園

離れ「松風」

松風から庭園を臨む

岩手県・花巻温泉

花巻温泉　佳松園

贅を尽くした貴賓室

岩手県花巻市の花巻温泉は、25万坪の広大な敷地内に4軒の旅館・ホテルやバラ園などの観光スポットを展開する東北随一のリゾート。昭和2年の創業以来、長きにわたり人々に最高のレジャーを提供し続けてきた。

昭和14年の朝香宮鳩彦王殿下、同湛子女王殿下を始まりに、皇室の多くの方々がこの地を訪れた。直近では平成28年、第71回国民体育大会で天皇皇后両陛下、同年の第16回全国障がい者スポーツ大会で皇太子殿下がご宿泊。訪問は今上天皇が昭和26年の皇太子時代から3回、皇太子殿下が同49年から4回を数える。

主に宿泊されたのは、敷地の最奥に位置し、南部赤松林に囲まれた静かなロケーションの高級和風旅館「佳松園」。

かがり火がたかれる白砂の中庭を新数寄屋造りの離れ形式の客室が取り囲む。贅（ぜい）を尽くした温泉内風呂付きの「貴賓室ロイヤルスイート」「特別室クラウンスイート」からリビング付き和室、和洋室と、バラエティに富んだ51室がそろっている。

▽岩手県花巻市湯本1の125。☎0198（37）2111。https://www.hanamakionsen.co.jp/

佳松園中庭

山形県・蔵王温泉

深山荘高見屋

創業享保元年の老舗宿

山形県蔵王温泉の深山荘高見屋は、創業が享保元年（1716年）。300年以上の歴史を持つ東北屈指の老舗旅館だ。

創業以来、こんこんと湧き出る名湯。それを求めて江戸の昔から多くの旅人が訪れ、心身ともに癒やされてきた。

温泉街の中でも高台に位置し、見晴らしが良いことから、歴代の山形藩主の常宿とされてきた。そして同館を常宿とした皇室の方々も多い。昭和16年の三笠宮さまに始まり、同25年に高松宮さま、翌26年は天皇陛下が皇太子時代、3人のご学友ともに4日間、宿泊している。

今から1900年前、日本武尊の東征の際、従軍した吉備多賀由により発見されたという温泉は、強酸性の硫黄泉。美肌効果や血管を若返らせる効果があるという。この良質の温泉を「長寿の湯」「せせらぎの湯」などの九つの浴槽で、掛け流しでぜいたくに使っている。

山の味覚を中心とした会席料理、1日4組限定の蔵王牛を使った同館名物「すきしゃぶ鍋」も味わいたい。

▽山形県山形市蔵王温泉54。☎023（694）9333。http://www.zao.co.jp/takaniya/

風格漂うエントランス

福島県・磐梯熱海温泉

四季彩一力

自然と一体の日本庭園

四季彩一力は大正7年創業の福島・磐梯熱海温泉を代表する老舗旅館だ。開業から1世紀。時代が激変する中でもおもてなしの心は変わらず、多くの人々に利用されてきた。

皇室の方々は折々の状況で利用をされる機会が多く、昭和25年、福島県の養蚕視察をされた貞明皇太后陛下にご宿泊賜り、同45年には昭和天皇、皇后両陛下が第21回全国植樹祭のため福島県に行幸啓の際に利用され、同59年はご成婚60周年で再度ご来県の際に2度目の宿泊をいただいた。平成3年に全国高校馬術大会、7年に第50回国体冬季大会で秋篠宮殿下が2度のご宿泊。海外からは27年、英国のウイリアム王子が初来日の際、同館に宿泊されたのは記憶に新しい。

館内の日本庭園「水月園」は猪苗代湖から流れる、五百川の流れをそのまま引き込んだ自然と一体となった名園。春の新緑、秋の紅葉と、四季折々の風景を楽しめる。昭和天皇も同館を訪れた際、この名園を散策。園内の植物観賞に多くの時間を費やしたという。

▽福島県郡山市熱海町熱海4の161。☎024（984）2115。http://www.ichiriki.com/

日本庭園「水月園」

神奈川県・箱根宮ノ下温泉

富士屋ホテル

世界のVIPを迎える

神奈川県箱根・宮ノ下の富士屋ホテルは日本で最も歴史のある本格リゾートホテルだ。創業者の山口仙之助氏が明治11年開業。以来、世界各国の王族、皇族、ヘレン・ケラーなど、数多くのVIPを迎え入れている。

皇室ともゆかりが深く、昭和40年に当時の天皇皇后両陛下が来館。今上天皇は皇太子時代に来館されたほか、平成22年はグループの湯本富士屋ホテルに宿泊された。

明治24年竣工の本館は唐破風の玄関を持つ木造洋風建築。木造ながら強固な建物で、関東大震災の際もガラス戸1枚割れずに残り、これまで1階がフロント・ロビー、2階が客室として利用されている。現在、ホテルは耐震補強、改修工事で休業中だが、皇室の御用邸として同28年に建築された別館「菊華荘」が営業中。歴史に彩られた雰囲気の中で食事を楽しめる。

大正時代から100年以上、不動の人気を誇るのが同館レストランのカレー。今上天皇が皇太子時代に来館された際も食した逸品だ。

▽神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下359。☎0460（82）2211。https://www.fujiyahotel.jp/

本館外観